

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年9月30日 (第4回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	福崎町 28443
地域名 (地域内農業集落名)	鍛冶屋 ()

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	37.3 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	33.5 ha
② 田の面積	36.9 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.4 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	1.4 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	33.5 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

平成27年11月に営農組合を法人化し、地区の中心的な担い手として活動。耕作面積は水稻約20ha、麦10ha等。営農組合以外に認定農業者1名(いちご栽培)、小規模経営体3名で維持されている。農業者の大半が70才以上と高齢化が進んでおり、後継者不足が懸念されている。昭和50年過ぎにほ場整備を実施しているが、経年劣化により水路、農道等の傷みが顕著で補修・整備が急がれている。また、山間部のほ場の荒廃が進み原野化し、野生動物(シカ・猪)の出没が年々増加している。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

現状の水稻を主要作物としつつ、特産品のもち麦をはじめ、小麦等の裏作物を栽培。町からの委託の学童農園(田植・稲刈・さつまいもの栽培)を請け負い、じゃがいも・さつまいもを栽培し給食センターに地産地消の作物として出荷している。将来的にも、その形態を維持しながら担い手である営農組合に農地の集約を図ると共に、今後はスマート農法を取り入れ省力化、低コスト化を図りながら現状の農業維持に努める。また、多面的機能支払交付金を有効に活用し、地域全体で農地の維持を続け、耕作放棄地の拡大防止に努める。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地バンクへの貸付けを進め、鍛冶屋営農組合への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	73 %	将来の目標とする集積率	84 %
--------	------	-------------	------

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

団地数の半減及び団地面積の拡大を進める。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
当地区の農用地は、基本的に営農組合が担っていく。小規模就農者において離農・規模縮小が生じた場合は、中間機構を通じて集積・集約化を進める。山間部等で今後遊休農地となるおそれのある農地については、多面的機能支払交付金の対象農地から外すことも考えながら農業を継続していく農地との棲み分けを図っていく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
平成27年に営農組合の法人化にあわせ、同意が得られた地権者については中間管理機構に農地を貸し付け、営農組合が受け手として農地を借り受けている。未貸付農家や、将来的に規模の縮小・離農する経営者についても、貸し手の意向を踏まえた上で集約化を図るため、管理機構に貸し付けを行うよう促していく。
(3)基盤整備事業への取組
大型機械による作業効率の向上のため、農地の区画整理を行い、整備可能な限り畦畔の除去に努め効率化を図る。また、農道・水路の補修や整備等を多面的機能支払交付金を利用しながら実施していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
営農組織の強化を前提として、地区内において中心的な担い手となり得る者を育成すると共に、周辺地域や関係機関とも協力しながら経営体の確保・育成に努めていきたい。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
効率化が期待できる作業については、支援サービス事業者へ委託を進めていく。また、随時情報収集を行い、検討していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①山間地域において、鳥獣被害防止対策(シカ・猪)として電気柵の設置・点検をこれまでと同様実施していく。
- ②ヘアリーベッチを栽培し、減肥料に努める。
- ③GPSを搭載した田植機を購入。今後はトラクターの導入も検討し省力化に努める。
- ⑦多面的機能支払交付金事業を活用し、農地の保全・管理を共同で行うと共に、水路・農道の維持管理を行う。
- ⑧担い手や農業を担う者の利用状況などを考慮の上、出荷・調整施設を整備し、農業用施設の集約化を進める。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	22経営体		31.31 ha	0 ha		33.46 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	認定農業者(法人)A	水稻・麦・野菜	27.39 ha	ha		30.97 ha	ha	
2	認農	認定農業者	いちご	0.40 ha	ha		0.39 ha	ha	
3	利用者	利用者(自作)①	野菜	0.04 ha	ha		0.04 ha	ha	
4	利用者	利用者(自作)②	野菜	0.04 ha	ha		0.04 ha	ha	
5	利用者	利用者(自作)③	保全管理	0.04 ha	ha		0.04 ha	ha	
6	利用者	利用者(自作)④	野菜	0.76 ha	ha		0.05 ha	ha	
7	利用者	利用者(自作)⑤	野菜	0.06 ha	ha		0.06 ha	ha	
8	利用者	利用者(自作)⑥	保全管理	0.03 ha	ha		0.01 ha	ha	
9	利用者	利用者(自作)⑦	野菜	0.08 ha	ha		0.02 ha	ha	
10	利用者	利用者(自作)⑧	野菜	0.08 ha	ha		0.08 ha	ha	
11	利用者	利用者(自作)⑨	野菜	0.13 ha	ha		0.13 ha	ha	
12	利用者	利用者(自作)⑩	野菜・保全管理	0.12 ha	ha		0.12 ha	ha	
13	利用者	利用者(自作)⑪	野菜・保全管理	0.09 ha	ha		0.09 ha	ha	
14	利用者	利用者(自作)⑫	水稻・保全管理	0.35 ha	ha		0.35 ha	ha	
15	利用者	利用者(自作)⑬	野菜	0.05 ha	ha		0.05 ha	ha	
16	利用者	利用者(自作)⑭	保全管理	0.04 ha	ha		0.04 ha	ha	
17	利用者	利用者(自作)⑮	野菜	0.13 ha	ha		0.02 ha	ha	
18	利用者	利用者(自作)⑯	野菜	0.10 ha	ha		0.05 ha	ha	
19			ha	ha		ha	ha		
20	利用者	利用者(自作)⑰	保全管理	0.06 ha	ha		0.06 ha	ha	
21	利用者	利用者(自作)⑱	野菜	0.06 ha	ha		0.05 ha	ha	
22	利用者	利用者(自作)⑲	保全管理	0.01 ha	ha		0.01 ha	ha	
23	利用者	利用者(自作)⑳	水稻	0.79 ha	ha		0.79 ha	ha	
24			ha	ha		ha	ha		
25			ha	ha		ha	ha		
26			ha	ha		ha	ha		
27			ha	ha		ha	ha		
28			ha	ha		ha	ha		
29			ha	ha		ha	ha		
30			ha	ha		ha	ha		
31			ha	ha		ha	ha		
32			ha	ha		ha	ha		
33			ha	ha		ha	ha		
34			ha	ha		ha	ha		
35			ha	ha		ha	ha		
36			ha	ha		ha	ha		
37			ha	ha		ha	ha		
38			ha	ha		ha	ha		
39			ha	ha		ha	ha		
40			ha	ha		ha	ha		
41			ha	ha		ha	ha		
42			ha	ha		ha	ha		
43			ha	ha		ha	ha		
44			ha	ha		ha	ha		
45			ha	ha		ha	ha		
46			ha	ha		ha	ha		
47			ha	ha		ha	ha		
48			ha	ha		ha	ha		
49			ha	ha		ha	ha		
50			ha	ha		ha	ha		
51			ha	ha		ha	ha		
52			ha	ha		ha	ha		
53			ha	ha		ha	ha		
54			ha	ha		ha	ha		
55			ha	ha		ha	ha		
56			ha	ha		ha	ha		
57			ha	ha		ha	ha		
58			ha	ha		ha	ha		
59			ha	ha		ha	ha		
60			ha	ha		ha	ha		
61			ha	ha		ha	ha		
62			ha	ha		ha	ha		
63			ha	ha		ha	ha		
64			ha	ha		ha	ha		